

一宮市立市民病院に通院中または過去に通院された患者  
さんまたはご家族の方へ  
薬剤局における臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、ドセタキセルがフルオロウラシルの血管外漏出に及ぼす影響に関する臨床研究を実施しております。  
このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	ドセタキセルがフルオロウラシルの血管外漏出に及ぼす影響
所属（診療科）	薬剤局
研究責任者（職名）	浅野 寿規（主査）
研究実施期間	令和 5年 7月 1日 ~ 令和 6年 12月 31日
研究の意義・目的	フルオロウラシルの血管外漏出の影響度は炎症性抗がん薬に該当するが、壊死起因性抗がん剤を併用した場合に、発生頻度が増えるのか、症状が増悪するのかを調査する。
対象となる患者さん	2020年2月1日から2023年9月30日の期間にDCF療法またはCF療法を実施した頭頸部がん・食道がん・肛門がん患者
利用するカルテ情報	患者背景（性別、年齢、身長、体重、BMI、Alb、「血管が細い、穿刺困難、ルート確保困難など」のカルテ記載の有無）、治療レジメン、フルオロウラシルの投与量および濃度、ドセタキセルの投与量および濃度、制吐剤（ステロイド+アプレピタント）、穿刺部位、ポンプの使用の有無、血管外漏出の発生率および発生日、看護師テンプレート記載によるCTCAE ver 5の血管外漏出 Grade 評価、「疼痛、発赤、腫脹、潰瘍、硬結」の5項目の有無、漏出範囲（最大値）、漏出後の治療、皮膚科受診の有無
研究方法	電子カルテによる後方視的調査
問い合わせ先	窓口：一宮市立市民病院 薬剤局 浅野 寿規 電話番号：0586-71-1911（内線 5169）

既存の臨床記録（カルテ記録）、検査結果を研究・調査・集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

カルテ情報の利用に同意をお願いいたします。

## オプトアウト見本

利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報削除研究します。

研究成果は今後医学の発展に役立つように学会発表・論文投稿等に用いますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究に御自身の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。